

CRC



COLLAGEN RESEARCH CENTER

1-10-1 Kamikiyoto, Kiyose, Tokyo 204-0013, Japan
Tel+81-424-95-1995 Fax+81-424-95-1990

「K21 MATU 蛍光標識 (FITC) タイプ I コラーゲン末」 コラーゲン技術研修会

本品は、世界で最初に製品化された(1981年、医科歯科大学永井教室ご指導)コラゲナーゼ活性測定試薬「K11 コラゲノキット CLN100」「K21 蛍光標識コラーゲン」をもとに製品化したものです。「K21 蛍光標識コラーゲン」と共に培養実験にも用いられ、培養状態の視覚化や上清へ表出した蛍光標識コラーゲンの分解物測定などが行われています。

最近の主な利用方法は、「高感度ザイモグラフィー」での基質です。従来の「ザイモグラフィー」に比べ、感度が5-10倍に向上、染色廃液の処理が不要、酵素活性を継続して視認できるなどの利点があります。

容量 10mg/褐色瓶

本質 蛍光標識 (FITC) タイプ I コラーゲン

外観 凍結乾燥品

用途 MMPs (コラゲナーゼ、ゼラチナーゼ他) 及び TIMP の活性測定等
培養法に (プレートの塗布、二次元・三次元培養用ゲル)

由来 ウシ胎児真皮由来

抽出 酸・ペプシン抽出・DEAE処理

特性 変性温度及び SDS-PAGE でタイプ I コラーゲンの特性を示す。

保存 遮光下、-20℃で1年。長期には-70℃。

文献：高感度ザイモグラフィーに関する

1)細胞 34,141-143,2002.

2)Analytical Biochemistry 301,27-34,2002.

参考製品

・K22 蛍光標識タイプ II コラーゲン

・K12 コラゲノキット type II